

伴学区 社協だより

発行 伴学区社会福祉協議会
住所 〒731-3164 安佐南区伴東7丁目64-8
電話 082-848-3277

困った時は「お互いさま」の支え合い

エルモの理念共有 評議員会で決意

伴社協は六月、令和六年度評議員会を開き、評議員四十二人（委任状十七人）が出席、一般会計予算案など三議案を原案通りに承認しました。

広島市から二月認定された伴学区エルモについて、伴晴英会長が、地域共生社会への取り組みを踏まえて報告。「伴学区の発展のために大切。近隣で支え合う理念をみなさんが共有し、地域主体のまちづくりを進めたい」と各団体に理解と連携を呼び掛けました。



あいさつする伴会長(6月1日・いこいの家)

一般予算総額は415万7457円、前年度実績より122万2523円減。収入では、町民（二千六百世帯）が町内会経由で納める会費（二世帯二百円）を52万円見込み、拠点活性化支援事業補助金37万円など。支出では、福祉のまちづくりを進める各事業費を計上しました。

みんなの善意銀行の予算総額は

424万8470円。収入面で賛助会員年会費80万円（個人30万円、法人50万円）、支出面で十四町内会の敬老会補助金42万円、団体育成費31万円、新規支援の補助金枠50万円など。高齢者の交流拠点のサロン運営について社協の支援を充実して善意銀行からの助成金に組み換えました。

沼田老人いこいの家指定管理事業の予算総額は936万3614円。光熱費高騰等による赤字決算に伴って繰越金は45万8614円と30万円超減少。管理事業の収益を一般予算の財源に組み入れてきた方式はできなくなった旨が報告されました。

令和六年度社協役員のみなさん(敬称略)

会長	伴 晴英
副会長兼善意銀行事務局長	池田美代子
兼高齢者福祉部・福祉委員会部長	西田 雅行
兼地域福祉推進委員	稲葉 憲治
兼ボランティアバンクとも事務局長	上野 昭司
兼伴学区エルモ担当	山田 初則
事務局長・総務部会部長	中村 晴男
会 計	塚本 一
広報部会部長	圓山 文雄
児童福祉部会部長	中本 力夫
障がい者福祉部会部長	武永 修
善意銀行会計	寿賀本 正
監 事	大迫 俊治
	原田佳代子
	川本 和弘
	亀井 一夫
顧問	新川 博

みんなの善意銀行

令和六年度の賛助会員を募っています。個人会員は一口千円、企業・団体会員は同一万円。伴社協事務局「沼田老人いこいの家」に申込書を用意。口座振込の場合、JA伴支店に所定の口座があります。七月末現在、個人百三十人と九団体から入金がありました。また、赤ちゃんからお年寄りまで福祉の伴づくりに取り組み団体活動に助成します。助成金の申請書も事務局に用意してあります。



伴学区ふるさと祭り(前年度助成)

(事務局長 池田美代子)

通信 あんしんネット

一人暮らしのお年寄りや支援が必要な高齢者を近隣の協力が見守ります。高齢者登録者は現在三十三人。いつもの挨拶、さりげない声掛けで寄り添います。

地域包括支援センター内
伴あんしんネットの会
電話(八四九)五八六〇

みらいちゃんショップ 第一、三木曜に火山館開店

元気な伴づくりはみんなが主役です

夏休みラジオ体操

朝のあいさつ運動を兼ねた夏休みのラジオ体操が、伴学区内の二十会場で開催され、小学生たちと地域の人たちとの交流の場になっています。



輪になって 希望の朝だ

子ども会の親グループ、模範演技を披露するOBの中学生ら体操会の担い手はさまざま。小学生の夏休み体操会への参加きっかけで始まった、通年の大人の体操会「げんきかい」のお年寄りたちが支える会場もあります。あいさつ運動を提唱する社協、地元の町内会も運営助成し、参加者の皆勤表彰も。顔と顔が見える近隣づくりに体操会が一役買っています。

(児童福祉部会 中本力夫部長)

げんき会



安全啓発活動

大人の体操会「げんき会」では、交通安全運動に合わせ安佐南署によるお年寄り向けの講習会が今年、伴中央や奥畑、雲願寺地区などで企画されました。夏休みのラジオ体操への参加が縁で始まった通年の体操会も、地域の交流の場として認知度を高めています。

(高齢者福祉部会 西田雅行部長)

わかやぎ会六十周年



伴中央、三城田の一部地区でつくる老人クラブ「わかやぎ会」(六十六人)の創立六十周年祝賀会が四月、伴中央集会所でありました。写真。学区内の各クラブ代表者も出席。会員表彰などの後、マリimba演奏を楽しみました。お年寄りの親睦組織として学区内で初めて結成。文化・スポーツ、社会見学、清掃奉仕など活動を広げ、少子高齢化が進む中、健康増進や地域貢献に期待が高まります。

ボランティアバンク「とも」

ボランティアバンク「とも」は、ひとり暮らし・高齢世帯のみなさんが、住み慣れた地で安心して暮らし続ける訪問作業のお手伝いをしています。



庭木の枝落とし

庭の草取り、草刈り、庭木の枝落とし、網戸や障子の張り替え、蛍光灯の交換、ごみ出し、通院介助…。家周辺の作業や室内の作業など多岐にわたっています。

お手伝いいただける会員も募っています。元気なお年寄りは地域の福祉の担い手です。

(事務局長 上野昭司)

申し込み先
沼田老人いこいの家
電話 八四八一三三七七

笑顔に会えば元気に

伴学区のサロン一覧表

高齢者の地域の交流拠点であるサロンは、民生委員や福祉委員ら地元グループが毎月開いています。社協の福祉の三本柱のサロン運営について、七月から支援を充実し善意銀行の助成金に組み換えました。参加者一人当たり二百円と今までより百円増えました。伴学区のサロン十カ所と介護予防教室は次の通りです。

名称	開催日	会場
広陵ニコニコ健康体操	月曜	下伴集会所
ふれあい健康サロン	水曜	伴ハイツ集会所
さくらの里サロン	第1・3木曜	奥畑老人いこいの家
かみともサロン	木曜	椎原集会所
わくわく細坂サロン	第1木曜	細坂集会所
わいわいサロン相合傘	第1土曜	伴中央集会所
さわやかサロン	第2水曜	下伴集会所
伴中央上やまびこサロン	第2水・4土曜	三城田集会所
大原活き活きサロン	第2木曜	いこいの家
奥畑なかよしサロン	随時	3カ所
介護予防教室	第2・4金曜	いこいの家

おめでとーございませう

大原町内会の有馬義憲さん(写真)に四月、安佐南署の門田圭吾署長から感謝状が贈られました。二十年余りにわたり広島県公安委員会の暴走族相談員として街頭活動などをされた功績に対して授与されました。

有馬さんは、伴社協や伴地区青少年協の役員など、多方面にわたり地域貢献の活動に尽くされています。「信頼される相談相手として寄り添うことが大切」と地域と向き合う姿勢を語ります。



ぬまたエコひろば

広島市や西風館周辺五町内会連絡協議会など主催の「ぬまたエコひろば」が三月、安佐南工場でありました。食品ロスやフードドラ

伝言板「こだま」

地域福祉情報紙「こだま」が八月で二百号を迎えました。伴地区民協が、赤ちゃんからお年寄りまで福祉の見守り役として地域に寄り添った啓発活動。二百号では、「あいさつは地域の絆」を合言葉にした夏休みラジオ体操お年寄りの熱中症チェックリストを紹介しています。



沼田公民館を会場にした「はぐくみ食堂」が地域の交流拠点として定着。二周年を迎えて制作したマスクットキャラクタ

「はぐくま」が、入口で温かいおもてなし役を務めています。

少年を育む安佐南区民の会が令和四年六月に開設しました。中学生や学生も含めて二十人近いボランティアの地元応援団が、カレーのほかサラダやデザート、夏はかき氷も提供。米や野菜などの食材支援も広がりました。子どもからお年寄りまで百数十人が訪れる「みんなの食堂」。二周年記念のキャラクターは、スタッフの一人が考案し、五つの候補から来場者の投票で選ばれました。第三日曜午前十一時から午後一時半まで開店。参加費百円。



楽しく学ぶ

令和六年度福祉委員のみなさん

- 【奥畑】 山田 敏江▽玉代 久子▽平本 克枝
- 香川 道子▽引地 葉子
- 【上伴】 木村 恵子▽薬師 小壽枝
- 【伴中央】 田中 操▽西尾 満寿子▽瀬戸 廸子
- 【三城田】 松田 暁枝▽中本ひとみ▽島也 信子
- 【大原】 有馬美枝子▽岡本 純子▽吉田 亜紀
- 【グリーンヒル大原】 網本 美紀子▽長本 千恵
- 【ライオンズM大原】 加藤 栄治
- 【雲願寺】 佐々木 良司▽箕島 琢人
- 【広陵】 原 信子▽小川 眞智代▽前川 澄江
- 【小野地】 濱野 道枝
- 【大下中畑団地】 岡松 キヌコ▽山崎 みゆき
- 【瀬戸内苑団地】 安田 伸子▽新本 裕美
- 【寿団地】 高矢勢津子▽森川 雅江▽城本ともえ
- 【若葉台】 田上 真弓

地域を思い 行動する勇氣と喜び

伴学区エルモ

伴学区エルモ交付式で安佐南区の高石実区長から伴晴英会長に交付証が渡されました(一面関連)



交付証を高石区長から受ける伴会長(左) (5月11日・JA伴支店)

参加・連携・交流を合言葉に昨年からの協議を進めてきた社協、町内会連合会など十四団体に防災町民運動会、ふるさと祭りの両実行委と自主防災会連合会の三団体も合わせて十七団体で構成。エルモの目的として「地域のみなさんが楽しさ、やりがいを感じる地域主体のまちづくりを進め、地域の実情に応じた諸課題を解決する持続可能なコミュニティを實現する」を掲げています。
エルモ事務局は月々金曜、午前10時〜午後三時、スタッフが在室。
電話(九六二) 一三〇七。

総会で8事業採択
住民主体のまちづくりを進める伴

自主防災 地域や学校で体験学習

二〇一四年八月の広島土砂災害から十年。その教訓から企画した伴学区あんぜん・あんしん防災町民運動会は今年、雨天中止しましたが、防災意識の向上へ各団体が連携し地域



や学校で取り組みを広げています。
(伴学区町内会連合会防災部会・水嶋節郎部長)
七月十九日、伴中であつた防災体験学習。連合会、沼田まちづくり協議会、安佐南区役所地域おこし推進課の協力で一年生二百十五人を対象に初めて企画しました。

伴学区自主防災会連合会の活動を伝えたNHK特集「明日を守るナビ」防災・復興」を視聴後、体育館へ。担架づくりをはじめ、避難所の段ボールベッド設置、備蓄食のアルファ米も試食しました。

防災士六人が、毛布とパイプ二本で担架制作を演習。生徒も手順よく完成させた担架に一人を乗せて運搬しました。ベッドは段ボール二十四枚を組み立てました。

この地域学習は、土砂災害警戒区域が多い伴地域の特性を理解する▽中学生も避難先で救護のマンパワーとして活躍してもらおう狙い。全員が感想文を書いて意識を高めました。

七月七日には伴中央町内会の自主防災会が伴第一公園で防災祭りを初めて開きました。技能実習生も含めて百人が参加。災害時の炊き出しに使えるかまどベンチで非常食の調

会計 大迫 俊治 (連合会)
監査 宮本 博子 (民児協)
日野 賢司 (公衛協)

野菜づくりカフェ

協同労働団体「アグリアシスト」も七月、JA伴支店で「野菜づくりカフェ」を開き、農のある暮らしを住民四十人に伝えました。
わがまち農業応援団として昨年からJA伴支店の協力で企画。営農指導員が、春夏野菜の作業と秋冬野菜の準備について助言、受講者の質問に丁寧に答えました。



指導員から農業を学ぶ受講生 (7月19日・JA伴支店)

アグリアシストは、農業に関連した相談を通して地域の豊かな環境づくりを目指して活動、休耕畑を活用した福祉連携の農業など多彩な提案もしています。野菜づくりカフェは六回目を迎え、受講生は延べ二百人を超えました。

わがまち 広陵町内会

小川勇三会長 228世帯

竹林の風に吹かれ、鯉のぼり二十数匹が心地よく泳いでいます。「みんなの広場」は四年前、町内会がみなさんに呼び掛け、荒地を開いて完成させた地域の宝物です。「鯉家族の群泳」も、自宅で眠っている鯉のぼりの提供を受け、広場の季節行事になりました。

年始めは「とんど祭り」。背の高さに竹を組んだ広場仕様に地域の知恵と現場力がうかがえます。コロナ禍を経て「夏まつり」も今年は復活。全世代が集い、地域の絆を強める広場です。



舞い上がれ 鯉家族

理、担架を使った救護活動などを繰り広げました。
公園そばを流れる鳴谷川上流で四年前、土石流が発生して民家に迫りました。伴地域で初の災害ボランティア活動を町内会連合会と社協が呼び掛け、延べ二百人が参加しました。

五月に放送したNHK特集は、ハザードマップ「わがまち防災マップ」の全戸配布から防災町民運動会まで伴学区の取り組みを系統的に伝えました。「日ごろから備え、いざという時の避難の声掛けや共助につなげたい」と認識を新たにしています。

◇ 広島市の地域ポータルサイト「こむねつとひろしま」に防災体験学習の写真を掲載。伴学区の連合会トップページを経由し、社協や自主防災会、町内会、体協、エルモなどの活動もスマホやパソコンで閲覧できます。

告知板 一斉清掃



私たちも参加しています

草刈りやごみ拾いなど町内会の一斉清掃に参加する子どもたち。伴学区公衆衛生推進協議会の日野賢司会長は

「地域の環境学習になります」と大歓迎。顔が見える近隣の支え合いの輪も広がります。

伴小だより

四月に赴任しました。地域のみなさんには子どもたちの登下校の安全をはじめ、いろいろ支えていただき、大変感謝しています。

伴小は「人を大切にする」を合言葉に日々の生活に取り組んでいます。一つの柱が「あいさつ」です。登下校で子どもに会われた際にも、お声がけをお願いします。



美しい通学路

大人も子どもも、あいさつが自然に交わされるように学校でも意識的に取り組んで参ります。さわやかな伴のまちに向け、今後ともご理解とご協力をお願いします。

(堤信之校長)



活動報告をする加藤前会長（5月11日・JA伴支店）

みんなで考え みんなで動く あすの伴づくり



発行元
伴学区町内会
連合会事務局



連合会総会 4議案を承認

新川会長選出

伴学区町内会連合会は五月、J A広島市伴支店で令和六年度総会を開き、評議員二十四人（委任状二十六人）が出席、一般会計予算案、連合会規約の改定案など四議案を原案通りに承認しました。三年間務めた加藤栄治会長が退任、

新しい会長に新川博事務局長を選出しました。

加藤前会長は「コロナ禍で地域の交流行事の中止が続いた後、三年ぶりの伴学区あんぜん・あんしん防災町民運動会、神楽をメインに据えた第一回伴学区ふるさと祭りをみなさんの協力で成功裡に実施できました」と住民の底力に感謝の意を表しました。

将来にわたる持続可能なコミュニティの実現を掲げる伴学区エルモに参画し、地域主体のまちづくりを進める旨も報告。新川新会長も、地域の結束に力を尽くす決意を述べました。

連合会



新川新会長

一般予算総額は476万6568円。収入では、十四町内会の計二千六百十一世帯の町民が納める会費242万8230円、市補助金10万円などを計上。世帯数は、細坂町内会の解散などで百七十世帯減りました。支出では、事業費として防災町民運動会41万2500円、ふるさと祭り25万円、高齢化の進展に伴って対象者が増える各地区の敬老会補助費は一人400円と前年度より1000円減額しました。

連合会規約の改定は、町内会・自治会の加入条件▽反社会的勢力の排除▽退会と除名の条項を新設。加入を希望する町内会・自治会は、地域住民の半数以上の承諾が必要とするなどを明記しました。また、役員の任期は、原則として連続三期六年としました。

総会後、広島市から伴学区エル

モ交付式がありました。

（二面関連記事）

令和六年度連合会役員

みなさん（敬称略）

会長 新川 博（三城田）
副会長 大平 悟（奥畑）

水嶋 節郎（伴中央）
金高 仁志（寿）

事務局長 竹元 孝明
会計 大迫俊治（大下中畑）

理事 谷本 弘（上伴）
岡本 光行（大原）
吉村 伸一（グリーンヒル大原）

加藤 栄治（ライオンズマンション大原駅前）
中谷恵美子（雲願寺）
小川 勇三（広陵）

横更 宣頼（小野地）
渡部武志（大下中畑）
岡田 覚（瀬戸内苑）

二岡 崇弘（若葉台）
秋野 征治

上垣内保之
稲葉 憲治

段原 克彦
川本 和弘

顧問 亀井 一夫
竹原 哲

相談役 原田 照美

第2回 伴学区ふるさと祭り 11月10日開催